

ドイツ公立劇場唯一の日本人俳優 原サチコ氏による ドイツ演劇 レクチャー／ワークショップ

プログラム

2018年7月 28日 (土)

14:00～17:00

●レクチャー: 14:00～15:15(1時間前後＋質疑応答)

「現代日本を扱ったドイツの舞台作品」

原サチコ氏の最新出演作『地震・夢』(シュトゥットガルト州立歌劇場)は東日本大震災を世界のどこにでも起こりうる悲劇として捉え、ドイツ古典文学『チリの地震』に基づき舞台化した作品です。原氏は2011年東日本大震災直後にノーベル賞作家エルフリーデ・イエリネクが書き下ろした『光のない』世界初演にも出演しています。またそれより以前には広島原爆投下を生き抜いた少年達を描いた井上ひさし作『少年口伝隊一九四』をドイツ語訳し、ドイツ初演も行っています。それらの作品を映像で紹介しつつ、ドイツ演劇で日本がテーマになった時に見えてきたもの、現場の様子、観客の反応、これからの課題などについてお話しいたします。

<15分休憩>

●ワークショップ: 15:30～16:30 (*参加人数により延長17:00まで)

*使用テキスト: 井上ひさし作『少年口伝隊一九四五』を日本語、ドイツ語(ドイツ上演台本)で読んでみよう。

※レクチャー、ワークショップのどちらかのみのご参加も大歓迎です。

※ワークショップ(ドイツ語使用)参加希望の方はなるべく事前にお申し込みください。

(見学のみの方は申し込み不要)



場所: 上智大学中央図書館
9階 L911会議室

言語: 日本語、ドイツ語

参加費: 無料

ワークショップ申し込み先:

i-europe@sophia.ac.jp

(飛び入り参加も歓迎!)

<原サチコ氏プロフィール>

1964年生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。2001年ベルリンに移住、ドイツ語圏での演劇活動を始め数々の作品に出演。2004年、東洋人として初めてウィーン・国立ブルク劇場の専属俳優となる。2009年よりハノーファー州立劇場専属、2011年よりケルン市立劇場専属、2013年8月からはハンブルク・ドイツ劇場の専属と、ドイツ全土の公立劇場においても唯一の日本人専属俳優として活躍中。クリストフ・シュリンゲンジーフ、ニコラス・シュテーマン、ルネ・ポレシュ、クリストフ・マルターラーなどドイツ演劇界の鬼才演出家の多くの作品に出演。井上ひさし作「少年口伝隊一九四五」をドイツ語訳し、ドイツ各地での朗読も行っている。FB: <https://www.facebook.com/sachiko.hara.schauspielerin>